

# 岡崎嘉平太記念館



Vol. 40

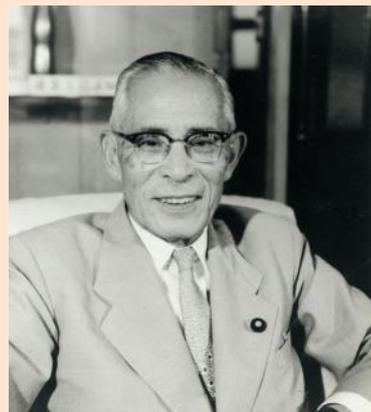
だより

岡崎嘉平太氏と日中友好に尽くした人々

## 高碕達之助

たかさきたつのすけ

2023年の秋の特別企画展では、日中国交正常化に尽力した岡崎嘉平太氏と同じく、国交正常化及び日中友好に尽力した人物の一人として、高碕達之助氏(1885-1965)を紹介しました。大阪府出身の高碕氏は、実業家として戦中戦後の経済界で活躍しつつ、当時の首相等から請われて政治家としても重要な働きをしました。戦中、満州重工業開発(株)の総裁をつとめ、終戦時には満州からの邦人引揚げに尽力しました。また、1955年に開かれたアジア・アフリカ会議(バンドン会議)では、日本政府代表として中国の周恩来総理と会談、戦後まだ国交を結んでいない中国との国交正常化を模索していました。そして、日中国交正常化(1972年)への道筋をつけたとされる日中覚書貿易(LT貿易)の覚書締結時(1962年)には、団長として副団長の岡崎嘉平太氏とともに訪中、その後も連絡事務所の代表をつとめる等積極的に関わりました。この度の展示では、高碕記念館のご協力を得て、高碕氏の生涯や功績を遺墨や写真等で紹介しました。



写真提供：高碕記念館



↑29歳頃の高碕氏(1914年)  
この頃メキシコに渡ります

→通商産業大臣として岸信介内閣に入閣(1958)

高碕氏(前列右端)と岸信介氏(隣)は戦前以来の親交があり衆院選への立候補を勧めたのも岸氏でした



↑周恩来総理と会談(1960)十月  
周恩来総理に招かれて訪中



↑国際会議での高碕氏(1955年)



↑自宅で飼育していたカメラやワニと動物をこよなく愛した



↑日中覚書貿易協定締結のため訪中(1962年)十月二十六日



高碕氏を顕彰する高碕記念館(兵庫県宝塚市)は、大正12年(1923)に医学博士諏訪瑩一氏の住宅としてウィリアム・M・ヴォーリスの設計により建築され、昭和4年(1929)より高碕達之助氏の住居として使用されていた建物です。自然や生き物をこよなく愛した高碕氏は当時、ワニやニシキヘビ等の爬虫類から小鳥、ダチョウにいたるまで、多くの生き物を敷地内で飼育していました(上写真)。この建物は、ヴォーリス建築の代表的なスタイルの一つである、木造2階建て腰折れ屋根のコロニアルスタイルの特色がよく表現されており、数度の増改築を経て、1990年にヴォーリス建築の保存を主目的とした全面的な改修工事を実施しました。

高碕記念館の位置する阪急電鉄雲雀丘花屋敷駅に続く南斜面の高台は、大正年間に開かれた阪神間有数の良好な住宅地として知られ、山の豊かな緑や美しい眺望も楽しめます。雲雀丘花屋敷にはヴォーリスの設計した建物が数軒ありましたが、現在はこの高碕記念館だけとなり、貴重な文化遺産として大正時代の生活様式を現代に伝えており、宝塚市景観重要建造物、ひょうごの近代住宅100選、登録有形文化財等に指定されています。(高碕記念館パンフレット、HPより一部編集補記)



## 岡崎嘉平太記念令和5年度秋の特別企画展

# 「岡崎嘉平太と日中友好に尽くした人々」—内山完造と高碇達之助

令和5年9月22日(金)～12月20日(水)  
協力：井原市教育委員会 高碇記念館 株式会社内山書店

今年度の秋の特別企画展では“日中友好に尽力した人々”として、内山完造氏と高碇達之助氏を紹介しました。内山氏は現在の井原市出身で初代日中友好協会理事長をつとめ、中国の作家・魯迅や郭沫若と親交があったことでも知られています。また表紙でも紹介した高碇達之助氏も岡崎嘉平太氏とともに訪中する等日中友好に尽くしました。内山氏と高碇氏はともに明治18年(1885)生まれであり、また両氏とも岡崎嘉平太氏とは接点がありましたが、全く異なる分野から日中友好に生涯尽力し、国交正常化を願いつつ、ともにその日を見ることなくこの世を去りました。内山氏は戦前から上海市内で書店を開き、この内山書店は日中双方の作家や文化人が集うサロンの役割を果たしていました。また戦後に帰国してからは、拠点を東京に移し、講演活動を通じて中国との友好を説いて回りました。一方の高碇氏は、戦中から中国と深く関わるようになりますが、若い頃にアメリカで働いた経験をもとに、グローバルな視点と誰とでも垣根無く付き合える人柄から、一財界人、政治家としても友好的に中国との正常な関係を切り拓こうと尽力しました。

この度は各関係機関のご協力のもと、両氏の生涯や功績を貴重な遺墨や遺品、写真等で紹介することができました。



特別企画展会場風景



内山氏の書や愛用品



高碇氏の遺墨色紙等

## 岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第22回講演会の開催

令和5年11月18日(土)きびプラザ(加賀郡吉備中央町)3階大ホールにて開催。当記念館では、日中友好や世界の平和に尽力した岡崎嘉平太氏の功績や生き方を学ぶために、毎年講演会を開催しています。本年は、ANAホールディング(株)から全日本空輸(株)の前代表取締役社長を務められた平子裕志氏(現ANAホールディングス(株)取締役副会長)をお招きし、ANA時代の岡崎氏の人物像についてお話しをいただくとともにANAに今も受け継がれる岡崎氏の精神等をお話いただきました。また全国的にも福祉分野での日中交流の先駆けである社会福祉法人旭川荘から末光茂名誉理事長をお招きし、1985年以来長年にわたる上海市での福祉交流の実像等についてもご講演いただきました。当日は県内外から約80名の参加者があり、講演に聞き入っておられました。



講演会場の様子

※本講演会の講演記録は冊子にまとめ発刊し、ご希望の方には頒布いたします。詳しくは岡崎嘉平太記念館までお問い合わせください。



平子裕志先生



末光茂先生

## 岡崎嘉平太記念館令和5年度夏休みミニ企画展

### 「日中国交正常化50周年記念関連展示 日中国交正常化とパンダ来日(上野動物園)」開催

令和5年8月2日(水)から31日(木)まで岡崎嘉平太記念館企画展示室にて開催。1972年の日中国交正常化を記念して中国から贈られた2頭のパンダや、輸送に関わった岡崎彬氏(嘉平太氏長男)、また上野動物園で開催されたパンダ来日50年を紹介したパネル展を紹介するとともに、上野動物園制作のパンダ来日50年記念映像も放映しました。併せて嘉あちゃんの部屋ではパンダの本やパンダが見られる国内の動物園の紹介もしました。また、きびプラザ周辺で開催された「鬼伝祭」に併せて、8/26(土)にはオリジナル缶バッジづくりのワークショップを記念館前の廊下で行いました。



## 岡崎嘉平太国際奨学財団第33期生来町 令和5年12月1日(金)

岡崎嘉平太国際奨学財団の第33期生2名と久野事務局長、事務局の崎山さんが来町来館されました。

同財団は、嘉平太氏の遺志を継承するためにANAが中心となり1990年に設立されて以後毎年アジア諸国から日本への留学を希望する優秀な青年を日本に招き支援を行っています。

第33期生のタイから来られたプラトゥーム・クリッタワンさん、同じくタイから来られたサブスック・ニターンさんは、嘉平太氏の母校である大和小学校での給食会や交流会に参加し児童と親睦を深めた後、嘉平太氏の墓所や大和山山頂の嘉平太氏揮毫の「望郷の碑」を訪れ、その後備前焼き体験等を行い、最後に当館にて嘉平太氏について学ばれました。

吉備中央町の石井教育長や地元の方々にも参加いただき、大変有意義な研修会となりました。



大和小学校にて クイズや玉入れをして交流しました



岡崎嘉平太記念館にてクリッタワンさん(左)とニターンさん



大和山山頂「望郷の碑」前にて



備前焼陶芸体験

## 「第17回嘉平太が愛したふるさと岡山写真展 入賞作品展」を総社市と岡山県自然保護センター会場にて開催

令和5年8月5日(土)から20日(日)まで、総社市総合文化センター内の市民ギャラリーにて、また9月23日(土)から10月25日(水)まで和気町にある岡山県自然保護センター内センター棟会場で、当館主催の写真展において入賞・入選された16点を展示しました。またあわせて岡崎嘉平太氏の紹介パネルも展示しました。



総社会場 (共催)



自然保護センター会場

**出展しました** 令和5年10月15日(日)倉敷市芸文館で開催された「第32回倉敷国際ふれあい広場2023」に出展しました。嘉平太氏の生涯や功績をパネルやパンフレットで紹介しました。



**展示しました** 令和5年9月1日(金)から20日(水)まで吉備中央町内の大和郵便局にて夏休み企画として開催した「絵手紙をかく会」の作品全点と嘉平太氏の紹介パネルを展示させていただきました。



## 岡崎嘉平太記念館令和5年度新春ミニ企画展「第2回 岡崎嘉平太記念館の目正月展」開催

令和6年1月17日(水)から29日(月)まで、岡崎嘉平太記念館企画展示室にて開催。近年当館に寄贈された岡崎嘉平太氏の遺墨4点を初公開しました。嘉平太氏は、書家に師事して特別に書を学んだという事実は確認できませんが、多忙を極める中でも、揮毫を頼まれると、こころよくこれに応じ、多くの書を残しています。これらの書のほとんどは個人や学校、会社、団体等に贈られ、各方面に分散していますが、当館では開館当初より遺墨調査に取り組み、ご寄贈いただいたものも多数にのぼります。遺墨にしたためられた言葉や筆跡からは、和を重んじた人間嘉平太氏の人柄や生き様が偲べれます。



## 来館くださいました

令和5年11月20日(月)、吉備中央町内の上竹荘学校と円城小学校の4年生の皆さんと先生方が、また令和6年1月25日(木)には豊野小学校の4年生の皆さんと先生方が授業の一環で来館くださいました。学芸員による紙芝居や、館内説明、クイズ等で学習した後ANAオリジナルの紙飛行機を作って「きびプラザ」の広場で飛ばしました。当館では郷土の誇りである岡崎氏について子供達にしっかり伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。また令和5年8月18日(金)には吉備中央町新任教員研修の一環で23名の先生方が、10月11日(水)には、倉敷市日中友好協会から20名の皆様にご来館くださいました。



授業風景



←新任教員研修  
↑倉敷市日中友好協会来館

### 吉備高原公民館ミニミニ文化祭2023作品展示会

主催：吉備中央町吉備高原公民館

令和5年11月1日(水)から6日(月)まで、地元吉備中央町の吉備高原公民館主催の講座に参加されている方々の作品展示が行われました。



### 第三回森の宝石ブッポウソウ絵画展

主催：ブッポウソウ吉備中央町会

令和6年1月5日(金)から11日(木)まで開催。吉備中央町等に毎年飛来する絶滅危惧種の渡り鳥「ブッポウソウ」の絵画コンテストを住民団体「ブッポウソウ吉備中央町会」が実施、応募された全作品52点が紹介されました。



### 2022年自然保護センター写真展

主催：岡山県自然保護センター

令和5年11月10日(金)から12月10日(日)まで開催。和気町にある岡山県自然保護センターが毎年自然保護センター内で見つけた動植物や、それを見つめる人々等、自然からのメッセージが感じられるような作品を広く募集した写真展を開催しており、入選入賞に選ばれた26点が紹介されました。



### 吉備中央町赤い羽根共同募金展

主催：吉備中央町共同募金委員会(社会福祉法人吉備中央町社会福祉協議会)

令和5年10月1日(日)から16日(月)まで開催。町の社会福祉協議会が令和5年度共同募金活動強化事業としてグッズを製作する際に募集した絵画等の作品展示が行われました。



### 令和5年度 吉備中央町図画展

主催：吉備中央町教育研修所

令和6年1月13日(土)から22日(月)まで、県の児童生徒絵画展において特選を受賞した作品とともに、町内・ブロック審査会で優秀作品に選ばれた作品や、町内幼稚園、子ども園児の作品が紹介されました。



※岡崎嘉平太記念館「嘉あちゃんの部屋」は当館が使用する期間を除いて主に町内の団体や個人の方に学習の場、作品発表の場等としてどなたでもお気軽にご利用いただけます。ご希望の方は当館までご相談ください。

### 講演しました

令和5年11月16日(木)に倉敷公民館にて開催された「備中倉敷学」にて当館学芸員の初岡が岡崎嘉平太氏の生涯と功績について講演しました。

また令和6年1月25日(木)には岡山県郷土文化財団評議員の河田啓子元館長が嘉平太氏の母校でもある県立岡山朝日高等学校で行われたボランティア講座で約340名の1年生や先生方に嘉平太氏の生涯や功績を紹介しました。



朝日高等学校にて講演する河田評議員

### 『岡崎嘉平太さんとの思い出』を募集しています

皆様から岡崎嘉平太氏との思い出を募集いたします。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。岡崎嘉平太記念館ホームページの『岡崎嘉平太さんとの思い出』募集中」フォーム、またはFAX、郵便等でもお受けいたします。是非ご協力ください。

### 催しのご案内

### 第16回 嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

令和6年2月17日(土)～3月4日(月)  
岡崎嘉平太記念館企画展示室

吉備中央町内の6年生の作品を一堂に展示。小学校最後の思い出に制作した力作の数々を展示します。

### 第18回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展

協賛：(公財)岡山県産業振興財団・(株)吉備NC能力開発センター・オーニツク(株)

※応募締切は令和6年3月4日(月)

### 展示期間

令和6年4月15日(月)～6月16日(日)  
岡崎嘉平太記念館

令和6年7月16日(火)～21日(日)  
岡山県天神山文化プラザ第1展示室小室(岡山市)  
※両会場とも応募いただいた全作品を展示します。



編集・発行：岡崎嘉平太記念館  
〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町  
吉川4860-6  
きびプラザ内



TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066  
HP <https://www.okazaki-kaheita.jp>  
Eメール [okmh@okazaki-kaheita.jp](mailto:okmh@okazaki-kaheita.jp)